

もとす教道研会報 第47号 令和6年9月30日

発行所:岐阜県モラロジー連絡協議会
Tel/058-214-6224 Fax/6225

道徳教育研究会で学びました！

第61回道徳教育研究会は、岐阜県下4会場にて開催されました。もとす教育者道徳研究会は7月26日(金)羽島市福祉ふれあい会館の岐阜羽島会場に参加しました。参加者数64名中7名(11%)でした。瑞穂市立本田小学校・伊藤智子校長先生はじめ6名の方と中濃地区の先生お一人、計7名に参加費を出させていただきました。**感謝**

開会式は、丸山校長先生(足近小)の進行で、国歌斉唱後、岐阜県岐阜モラロジー協議会:山口温朗会長の開会挨拶、公益財団法人モラロジー道徳教育財団・東海ブロック:若林浩司部長による主催者挨拶がありました。全国各地70会場で開催されている紹介と参加者への期待を述べられました。そして、羽島市長:松井聡様には、来賓ご挨拶として、道徳科への熱い思いと歓迎のお言葉をいただきました。



開会挨拶
山口温朗会長



主催者挨拶
若林浩司部長



来賓ご挨拶
松井 聡羽島市長



進行
(足近小校長)
丸山靖生先生



実践発表「自己を見つめ、他者と共に人としてよりよい、生き方を求め続ける子の育成」**羽島市立正木小学校教諭 大野 翔平 先生** 人権を考える「ふれあいの日」への取組を発表していただきました。

第1講「教師として質の高い生き方を求めて」

(公財)モラロジー道徳教育財団

学校教育アドバイザー 谷渕 篤孝 先生

谷渕先生は、瑞浪麗澤中学高等学校の教師として43年間一途に邁進されました。そのお人柄を感じさせる実直な語り口は、品性の向上をめざして実践されてきた信念を感じました。



講演中の谷渕先生

自分の目の前に来た仕事はすべて自分の仕事

「35歳の時、中高一貫教育の高1学力下の担任、高1学年主任、男子寮の寮担任の校務分掌を言い渡されました。『3つも重なっては』と思い悩む中、恩師に言われた一言です。田辺広志さんが『仕事の思想』で示した『4 仕事の報酬は、成長である』の境地です。顧客や仲間を楽にしていられると喜ぶ顔を見ることができ、その喜ぶ顔を見ることで自分の成長を実感し、成長の喜びを味わえるというものです。教師としての転機となる出来事でした。

生徒に自分たちの成長を実感させることができる喜びの仕事

本当に楽しい学校生活

- ・勉強が理解できること。
- ・何かができるようになること。
- ・分かったことを教え合うこと。
- ・友達と何かを一緒にやる。
- ・仲間のためにしてあげて、喜んでる姿を見ること。
- ・自分の成長を実感できる。
- ・皆で成長すること。
- ・皆で成長するために、見て見ぬふりはしない。責任転嫁しない。
- ・整理・整頓・掃除を皆で心掛ける。

教師としての私の目標を自覚してからは、迷うことなくやるべきことに没頭できるようになりました。すべてが順調に進まない時でも、生徒の成長のための手立てを考える時、道が開けていく連続のように思います。紆余曲折はありましたが、振り返れば学びの多い教師生活でした。無我夢中で正面からぶつかり合った生徒たちとは、卒業後何十年経ってからでも長い付き合いがあります。正に教師冥利に尽きると、今は感謝する日々であります」

第2講「笑顔と励ましで教師も子供も幸せに！」

(公財) モラロジー道德教育財団 特任教授
麗澤大学教授 大久保 俊輝 先生

大久保先生は、千葉県教育界のリーダー的存在としてご活躍される中、自分のお子様が不登校になるという経験をされました。その実体験を「わが子が『学校に行きたくない』と言ったら」(モラロジー道德教育財団出版部



1,540円税込)の著書になさいました。「不登校解決レシピ」の副題がついた著書は、悩んでいる多くの方に癒しと勇気を与える本となりました。また、積極的な相談活動を展開されて全国各地を飛び回り、具体的な救いの手をさしのべてくださいます。岐阜県においても大垣市の「教育講演会」をはじめとして、その情熱的なご指導・ご援助を喜びとともに体験された方が数多くおられます。

人間関係を大切にするには…自己評価を高めましょう！

「5つのポイントを示します。1.自分自身を理解しましょう。自己評価を高めるためには、自分自身を深く理解することが大切です。自分の強みや成功した経験を振り返り、自己肯定感を高めましょう。方法として、思いつくままを書き出して見える化すると良いと思います。

2.自分の価値観を確認しましょう。自己評価を高めるためには、自分が大切に思う価値観を明確にします。自分にしか分からない小さなことや小さなステップであっても、それを認めることで自己評価を感じられるようになります。自分しか気づけないような、ささいな美点を書き出してみるのです。3.小さな行動を継続してみましょう。行動は、自己評価と深く関連します。小さな行動を継続することで自己肯定感を

高めるのです。自分で決めた目標を達成すると、自己評価も高まります。立てる目標は6掛け位の低めの設定をします。欲張りは禁物です。



4.周りからの肯定や支援がある環境を作りましょう。良好な対人関係やサポートを受けることで、自己評価を高めることができます。信頼できる人々とのつながりを大切にします。弱音を言える人はいますか…。恰好悪さを表に出せますか…。5.適切な心理的サポートを受けてみましょう。心理カウンセリングやセルフヘルプの方法を活用して、自己肯定感を高めることができます。現状をすべて受け入れる訓練になります」

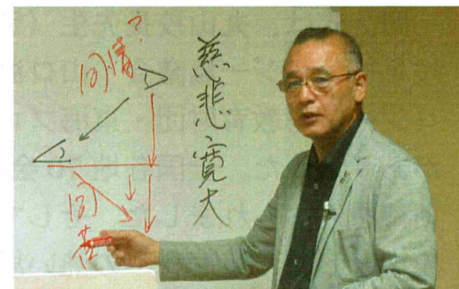
励ましと()は無敵！

「あなたなら()にどんな言葉を入れますか…。聞いてみようと思います。では、考えてみてください。あなたはどうか…」

『同質』より『異質』を求める人間関係を大切に

「廣池博士の言葉に『慈悲寛大』があります。この素晴らしい言葉のもつパワーは、同情ではなく同様の苦しみとして受け止めることです。

私の事案対応とは、『同苦』の思いで拝聴し、『誠実』に『丁寧』にお答えしようと努めることに尽きます。そうは言っても堅苦しいばかりではダメですね。そこで大久保流『楽観的に生きる4つのヒント』
○カッコつけない格好良さを身に付ける！
○吐き出さないと入らない、腐る、くすぶる！
○教師・親である前に面白く、正直な人であれ！
○一生懸命やらない、でも丁寧、誠実に！」



大久保先生の本意を伝えることは至難です。以上ご容赦願います。



閉会挨拶 河合会長

閉会式は、岐阜県教育者モラロジー研究会：河合宜昌新会長よりまとめていただきました。3人の先生方の講義内容に触れながら、丁寧なお礼を述べられました。更に「自らの品性を高め、子どもたちの幸せを願う」参加の先生方に感謝の意を述べられました。【文責・森山】